



# 2016年度環境活動レポート

(2016年4月～2017年3月)



## 株式会社TBテクノグリーン

〒473-0902 愛知県豊田市大林町8丁目54番地

代表取締役社長

梅村

作成日： 2017年5月31日  
改定日： 2017年8月28日

## 目 次

1. 組織の概要	
(1)事業所名及び代表者	3
(2)所在地	3
(3)事業の内容	3
(4)事業活動の規模	3
(5)環境管理責任者及び担当者	3
(6)建設業の法規に関する有資格技術者	3
2. 対象範囲(認証・登録範囲)	3
3. 環境方針	4
4. エコアクション21推進体制と役割と責任権限	5
5. 環境目標	6
6. 環境活動計画	7
7. 環境目標の実績	8
8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	9
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	10
10. 2016年度活動計画	10
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	11

## 1. 組織の概要

### (1) 事業所名及び代表者名

株式会社TBテクノグリーン  
代表取締役社長 梅村 信男



### (2) 所在地

本社:愛知県豊田市大林町8丁目54番地  
堤作業場:愛知県豊田市堤町伊勢堤17番地1

### (3) 事業の内容

- ①建築・設備 (新築・増改築の設計施工及び工場等ユーティリティの設計施工)
- ②緑化・土木 (土木及び造園の設計施工、緑化・樹木の年間管理業務)
- ③消防施設 (消防設備の設計施工、保守点検、防災用品の販売)
- ④物流機器 (工場間台車・パレット等の製造販売)
- ⑤リフォーム (個人住宅のリフォーム、庭・外構のデザイン施工)

#### ・建設業許可

特定建設業 愛知県知事許可(特-28) 第28828号  
土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、  
電気工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、板金工事業、  
塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、造園工事業、  
タイル・れんが・ブロック工事業

一般建設業 愛知県知事許可(般-28) 第28828号  
消防施設工事業  
愛知県知事許可(般-28) 第28828号  
機械器具設置工事業、さく井工事業

・産業廃棄物収集運搬業 愛知県許可番号 第09000086130号  
(但し、自社以外の実績無し)

### (4) 事業活動の規模

従業員数	35人
会計年度	4月～3月
売上高	2,717百万円

### (5) 環境管理責任者及び担当者

責任者 取締役 柴田 透 TEL:(0565)29-1381  
担当者 総務部 西山 智恵己 TEL:(0565)29-1381  
( e-mail : tb-technogreen2@toyota-boshoku.com )

### (6) 建設業の法規に関する有資格技術者

一級建築士	4名	一級土木施工管理技士	4名	
一級建築施工管理技士	6名	一級電気工事施工管理技士	2名	
一級管工事施工管理技士	5名	一級造園施工管理技士	3名	他

## 2. 対象範囲(認証・登録範囲)

(1)対象組織 株式会社TBテクノグリーン 全組織

(2)対象活動 土木工事業(緑化管理等)、消防施設工事業、建設工事業(増改築、工事等の設備配管等)  
及び物流機器(工場間台車)製造販売業

### 3. 環境方針

#### 株式会社 TBテクノグリーン 環境方針

##### 1. 基本理念

株式会社TBテクノグリーンは、建設業としての事業活動の根幹が、環境と深く関連していることを認識し、環境汚染の予防ならびに環境負荷低減に努め、地球環境の保全と社会への貢献を目指した環境活動を展開する。

##### 2. 環境方針

株式会社TBテクノグリーンは、「基本理念」の実現のために、当社の事業活動(建設、緑化、消防、リフォーム、物流の各事業)を通じて、自主的に環境改善活動を推進する。

- (1) 環境管理推進のための体制を組織し、環境の負荷を軽減するため、適切な取組みを行い、環境マネジメントシステムを継続的に改善する。
- (2) 環境に関する法規制、地域との協定、業界規範を遵守し、また顧客の環境に関する要望を反映し、汚染の予防に努める。
- (3) 事業活動による環境への影響を的確に把握し、地域・地球環境を守るため、次の項目の環境目標を設定し、継続的改善に努める。
  - ① 二酸化炭素の低減
  - ② 水資源の有効活用のため節水
  - ③ 一般廃棄物、産業廃棄物の発生抑制、削減、リサイクルの促進
  - ④ 工事現場での騒音、振動、濁水等、現場周辺環境への配慮
  - ⑤ グリーン購入の促進
  - ⑥ 化学物質の使用量削減・環境への配慮
- (4) 本方針に基づいて、積極的に環境教育を行い、環境を大切にする従業員を育成する。
- (5) 本方針は、全従業員および当社の協力事業者に対し周知するとともに社外公開する。

2011年7月1日

株式会社 TBテクノグリーン

取締役社長 梅村信男



## 5. 環境目標

2009年度から2012年度までは2008年を基準年度とした目標値を設定し推進してまいりました。2012年度は堤事業所を閉鎖、売上が3割強増えるなど会社の業態が大きく変化し、5年前の目標設定の考え方と現状の事業環境は大きく変わったため、2013年度より前年度実績の3%減を目標値とするよう環境目標の考え方を変更し、2015年度もその考え方を踏襲しました。中長期目標として、ハード面の環境対策が一巡したこともあり、2016年度～2018年度は前年度実績の1%減を目標とします。

### (1) 二酸化炭素排出量の削減

取組項目	基準年度 2008年度 実績	目標			2015年度 実績	2016年度 目標 (1%減)
		2013年度	2014年度	2015年度		
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	115,141.68	110,205.00	101,939.00	820,734.00	81,752.60	80,935.00
電力 (kwh)	75,512.4	45,849.0	406,310.0	27,225.0	26,833.0	26,564.8
ガス(LPG) (kg)	16.4	18.4	12.6	13.5	10.9	10.8
ガソリン (ℓ)	27,043.2	34,144.0	31,918.0	27,108.0	28,073.5	27,792.8
軽油 (ℓ)	6,292.8	3,486.0	3,254.0	2,360.0	1,457.1	1,442.5

### (2) 水使用量の削減

取組項目	基準年度 2008年度 実績	目標			2015年度 実績	2016年度 目標 (1%削減)
		2013年度	2014年度	2015年度		
水道使用量 (m3)	492.6	249.0	241.5	218.3	213.0	210.9

### (3) 廃棄物排出量の削減

取組項目	基準年度 2008年度 実績	目標			2015年度 実績	2016年度 目標 (1%削減)
		2013年度	2014年度	2015年度		
廃棄物排出量 (t)						
一般廃棄物 (t)	1.33	1.34	1.26	1.24	0.99	0.98
産業廃棄物 (t)	2,818.40	5,070.80	1,791.60	1,753.19	2,581.28	2,555.46

### (4) 工事現場での騒音、振動、濁水等、現場周辺環境への配慮

取組項目	基準年度 2008年度 実績	目標			2015年度 実績	2016年度 目標
		2013年度	2014年度	2015年度		
外部からの苦情 (件数)	0	0	0	0	0	0

### (5) グリーン購入の促進

取組項目	基準年度 2008年度 実績	目標			2015年度 実績	2016年度 目標
		2013年度	2014年度	2015年度		
リサイクル用紙の購入(t)	データなし	1.20	1.20	1.20	1.41	1.20

### (6) 化学物質の使用量削減・環境への配慮

取組項目	基準年度 2008年度 実績	目標			2015年度 実績	2016年度 目標 (1%削減)
		2013年度	2014年度	2015年度		
農薬・除草剤使用量(kg)	データなし	18	15.2	6.11	8.70	8.61

### (7) 地域への環境保全活動

取組項目	基準年度 2008年度 実績	目標			2015年度 実績	2016年度 目標
		2013年度	2014年度	2015年度		
会社周辺美化活動	1回/週	毎週金曜日	毎週金曜日	毎週金曜日	1回/週	1回/週

## 6. 環境活動計画

本環境レポートの対象期間は、下記の通りとします。

2016年4月1日～2017年3月31日

	事業所	現場	担当部署
二酸化炭素	1) エアコンの設定温度	1) エコドライブの推進	全部署
	① 室温は冷房28℃、暖房19℃を保つ	① 不要なアイドリングはやめる	
	② 設定温度の表示を行う	② タイヤの空気圧をチェックする	
	③ 使用時間の設定 (AM7:40～PM7:30)	③ 不要な荷物は降ろす	
	2) 電灯の適正使用	④ 暖機運転は適切に行う	
	① 節電啓発表示を行う	⑤ 急発進、急加速はやめる	
	② 不必要な箇所の電灯の消灯	⑥ 車間距離は余裕をもつ	
	③ トイレの電気消し忘れ防止	⑦ エンジンブレーキを積極的に使う	
	④ 省エネ機器の選考	⑧ 駐車する時は、適正な場所に	
	3) 帰宅時は、パソコンの電源OFF	⑨ 燃費管理表による意識付け(2015.1～)	
4) エコドライブの推進			
5) ガス(LPG)の削減			
① 昼食時の汁物保温の適正化			
水使用	1) 水使用量の削減	2) 水使用量の削減	全部署
	① 節水啓発表示	① 水道の蛇口をしっかりと閉める	
	② マイ水筒を持参する		
	③ 漏水確認を検針時に実施		
④ 将来的に雨水の利用を検討			
廃棄物	1) 一般ゴミの削減を図る	1) 種類別に分別し、置き場所を決める	全部署
	2) 種類別に分別し、置き場所を決める	2) 発注、寸法切断時に残材が最小で	
	3) 灰皿の撤去	済むよう徹底する。	
	4) 私物ゴミの持ち帰りを徹底する		
リサイクル	1) ダンボール・雑誌等紙類のリサイクル	1) リサイクル専用コンテナの設置	全部署
	① ダンボール置場へ整理して置く	(木専用コンテナの設置)	
	② 機密書類のシュレッダー化	2) 3R(Reduce・Reuse・Recycle)活動推進	
2) 3R(Reduce・Reuse・Recycle)活動推進	ゴミを減らす・繰り返し使う・再利用		
3) 裏紙利用の促進			
環境配慮	1) 工事施工の環境配慮確認(事前確認)	1) 工事施工の環境配慮確認	全部署
	2) 工事現場周辺への環境配慮確認( " )	2) 工事現場周辺への環境配慮確認	
		3) 材料等運搬時の飛散防止対策の徹底	
グリーン購入	1) グリーン購入	-	全部署
	① 紙はリサイクル用紙を購入		
化学物質	1) 化学物質の使用量削減	1) 消毒に使用する農薬等の削減	事業部
		2) 管理の徹底	
その他	1) 地域への環境保全活動	1) 施工後の4S徹底	全部署
	1回/週 会社周辺の美化運動の実施		

## 7. 環境目標の実績

## ＜環境負荷の実績 取組期間・2016年4月1日～2017年3月31日＞

- (1) 二酸化炭素排出量の削減 評価： ○ 目標達成 △やや目標未達(5%以下)  
× 目標未達(5%超)

取組み項目	2016年度目標	2016年度実績	低減率	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	80,935.0	86,143.0	-6.4%	×
電力 (kwh)	26,564.0	29,069.0	-9.4%	×
ガス(LPG) (kg)	10.8	10.6	1.9%	○
ガソリン (ℓ)	27,792.0	30,284.5	-9.0%	×
軽油 (ℓ)	1,442.0	770.6	46.6%	○

但し、電力のCO2排出係数は、中部電力の平成21年度値0.474kg-CO2/kWhを採用する。

- (2) 水使用量の削減

取組み項目	2016年度目標	2016年度実績	低減率	評価
水道使用量 (m3)	210.0	217.0	-3.3%	△

- (3) 廃棄物排出量の削減

取組み項目	2016年度目標	2016年度実績	低減率	評価
一般廃棄物 (t)	0.98	1.02	-3.8%	△
産業廃棄物 (t)	2,555.4	2,638.0	-3.2%	△

- (4) 工事現場での騒音、振動、濁水等、現場周辺環境への配慮

取組み項目	2016年度目標	2016年度実績	達成率	評価
外部からの苦情 (件数)	0	0	100.0%	○

- (5) グリーン購入の促進

取組み項目	2016年度目標	2016年度実績	達成率	評価
リサイクル用紙の購入(t)	1.20	1.25	117.5%	○

- (6) 化学物質の使用量削減・環境への配慮

取組み項目	2016年度目標	2016年度実績	低減率	評価
農薬・除草剤在庫量(kg)	8.61	4.89	43.2%	○

- (7) 地域への環境保全活動

取組み項目	2016年度目標	2016年度実績	達成率	評価
会社周辺美化活動	1回/週	1回/週	100.0%	○

8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画の取組結果と評価

○できた △あまりできなかった(5%以下) ×できなかった(5%超)

	環境活動計画	結果	評価/次年度への取組内容
二酸化炭素	<b>電力使用量の削減</b> ①節電への表示と手順に従い取組みチェック推進 ②エアコン室温基準設定チェックによる管理徹底 ③帰宅時は、パソコンの電源OFF ④省エネ機器の選考 ⑤休憩時・不必要の消灯	×  低減率 -9.4%	● <b>評価</b> ・照明使用量減だが、エアコン使用量増。 (冬の気温が0.9度低くエアコン利用頻度増) ● <b>次年度への取組み</b> ・本社建屋に太陽光発電システムを導入し増加分を吸収していく
	<b>ガス(LPG)の削減</b> ①昼食時の汁物保温の工夫 (必要な分だけ保温できるように、保温容器を小型化)	○  低減率 1.9%	● <b>評価</b> ・狙い通り効果がでている ● <b>次年度への取組み</b> ・不要時の種火消し忘れ防止対策の導入
	<b>ガソリン使用量の削減</b> ①エコドライブの実施 (社用車毎の燃費管理、社内公開)	×  低減率 -9.0%	● <b>評価</b> ・遠隔地の大型物件対応等で使用量増 ● <b>次年度への取組み</b> ・燃費管理状況の見える化導入の検討
	<b>軽油使用量の削減</b> ①エコドライブの実施	○  低減率 46.6%	● <b>評価</b> ・トラックを使用する作業の外部委託増 ● <b>次年度への取組み</b> ・ガソリン車同様、燃費管理の対象とする
節水	<b>水使用量の削減</b> ①節水表示による意識高揚	△  低減率 -3.3%	・トイレ、来客給茶、花の水遣りのみ水を使用し、設備も節水型であるので、生活最小限の使用量と判断し、次年度より目標指標から外す。
			
廃棄物	<b>一般廃棄物削減</b> ①可燃物の分別・裏面使用と両面コピー化	△  低減率 -3.8%	● <b>評価</b> ・リサイクルできない持込みゴミが8kg増 ● <b>次年度への取組み</b> ・社員持込ゴミ(飲食物)の持帰り徹底
	<b>産業廃棄物の削減</b> ①分別による廃棄物の低減活動	△  低減率 -3.2%	● <b>評価</b> ・大型解体工事(混載廃棄物が主)の受注 ● <b>次年度への取組み</b> ・廃棄物分別徹底による混載産廃の低減
			
環境配慮	<b>工事現場周辺への環境配慮確認</b> ①工事施工の <b>環境配慮</b> 確認 (騒音対策、使用車両のオイル漏れ) ②材料等運搬時の飛散防止対策の徹底	○ 目標達成率 100.0%	・ <b>環境目標達成</b> 今後も同様継続していく
グリーン購入	<b>グリーン購入品の採用</b> ①リサイクル用紙の積極活用 ②エコマーク商品リスト整備	○ 目標達成率 117.5%	・ <b>環境目標達成</b> リサイクル用紙の購入が定着
化学物質	<b>化学物質の在庫量の適正管理</b> ①農薬・除草剤入出庫管理 ②適正在庫管理 ③使用・管理に関する教育	○  低減率 43.2%	・ <b>環境目標達成</b> 入出庫、在庫管理を継続 SDS(安全データシート)の教育実施 (緑化土木G)
その他	<b>地域貢献</b> 会社周辺の道路、植込みの清掃活動	○ 目標達成率 100.0%	・ <b>環境目標達成</b> 毎週金曜日朝8時から実施 今後も同様継続していく

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

該当有無	環境関連法規	内 容	確認
有	・浄化槽法	・該当する工事の届出、浄化槽保守点検の遵守	遵守
有	・騒音・振動規制法	・該当する工事の届出、規制値の遵守	遵守
有	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・産廃業者との契約締結、マニフェスト管理	遵守
有	・建設リサイクル法	・分別解体の励行と再資源化	遵守
有	・アイドリングストップ条例 (愛知県条例)	・駐停車時のアイドリングストップ	遵守
有	・フロン排出抑制法	・フロン漏れ簡易点検の実施	遵守
有	・農薬取締法	・除草剤、殺虫剤の適正管理	遵守
有	・毒物及び劇物取締法	・毒物、劇物の適正管理	遵守
有	・労働安全衛生法	・危険有害性科学物質のリスクアセスメント	遵守
該当無し	・大気汚染防止法	・該当する工事の届出、アスベスト等の基準	/
該当無し	・水質汚濁防止法	・土木工事に伴う濁水を流さない	/
該当無し	・家電リサイクル法	・対象機器のリサイクル券による処分	/
該当無し	・土壌汚染対策法	・該当する工事の届出、搬出土壤の適正処置の確保	/

- 1) 当社の環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果違反はありません。
- 2) 過去5年遡っても、関係機関等からの違反の指摘や利害関係者からの訴訟等はありません

10. 2017年度活動計画

TBテクノグリーン 2017年度環境スローガン  
**「全員で取り組もう！EA活動！」**  
 次世代に誇れる地球環境保全活動  
 「省エネ活動」をとことんまでやりぬこう！

活動計画 項目	2017年					2018年						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
環境目標の提示	◆4/24											
活動の実施(PDCA)	実施			見直し・実施					見直し・実施			
安全衛生環境委員会					◆					◆		◆
環境教育	◆							◆				
EA21事務局中間審査(8月下旬)						◆						

## 11. 代表者による全体評価と見直しの結果

様式：12-01 代表者による全体の評価と見直し記録

### 代表者による全体の評価と見直し記録

環境管理責任者による見直しに必要なコメント	作成者：環境管理責任者 柴田 透 
	作成日：平成29年5月31日
<p>1. 環境目標とその達成状況(達成した場合は設定に問題が無かったか、次年度の目標設定について、未達成の場合は原因と次年度の目標や対応策について記載)</p> <p>目標未達項目：①電気使用量 ②ガソリン使用量 ③産業廃棄物排出量</p> <p>①目標 26,564kwh に対し、実績 29,069L(+9.4%)。本社所在地である豊田市の12～2月の気温が前年度より平均0.9度低く、空調機器の利用頻度が高かった。2017年度は夜間一斉消灯ルールを導入や本社建屋に太陽光発電システムの導入を計画。</p> <p>②目標 27,782L に対し、実績 30,284L(+9.0%)。遠隔地での大型受注に伴い多くの技術者が現地調査、打合せ目的の移動増などによる。2017年度はエコドライブをさらに推し進めていく。</p> <p>③目標 2,555t に対し、実績 2,638t(+3.2%)。大型解体工事受注のため。</p> <p>2. 環境活動計画の実施状況(取組に問題が無かったか、次年度の取組について記載)</p> <p>・社有車ごとに燃費実績を毎月公開する取組みを継続中。</p> <p>3. 環境関連法規の見直し・遵守状況</p> <p>・当社の環境関連法規制等は遵守している。</p> <p>4. 審査結果情報</p> <p>5. 外部からの苦情等の受付結果</p> <p>特になし</p> <p>6. 問題点の是正予防報告書</p> <p>特になし</p>	

代表者による変更の必要性の判断	評価者：代表者 梅村 信男 
	記載日：平成29年 5月31日
<p>1. 環境方針の変更 有・<input checked="" type="radio"/>無</p> <p>2. 環境目標の変更 <input checked="" type="radio"/>有・無</p> <p>3. 活動計画の変更 有・<input checked="" type="radio"/>無</p> <p>4. 環境経営システムの変更 有・<input checked="" type="radio"/>無</p> <p>変更の理由(詳細にわたる場合は別紙添付)</p> <p>電力使用量・ガソリン使用量・産業廃棄物排出量は目標未達であったため、2017年度の目標値は、2016年度目標値の据置きとする。</p> <p>環境管理責任者への指示事項</p> <p>近年 順調にCO2総排出量の低減を達成して来たが、'16年度は逆行してしまつたことは残念である。</p> <p>あつため、気象環境に左右されず活動のため、新エネルギー導入とムダの削減に向けてリーダーシップを発揮して欲しい。</p>	